

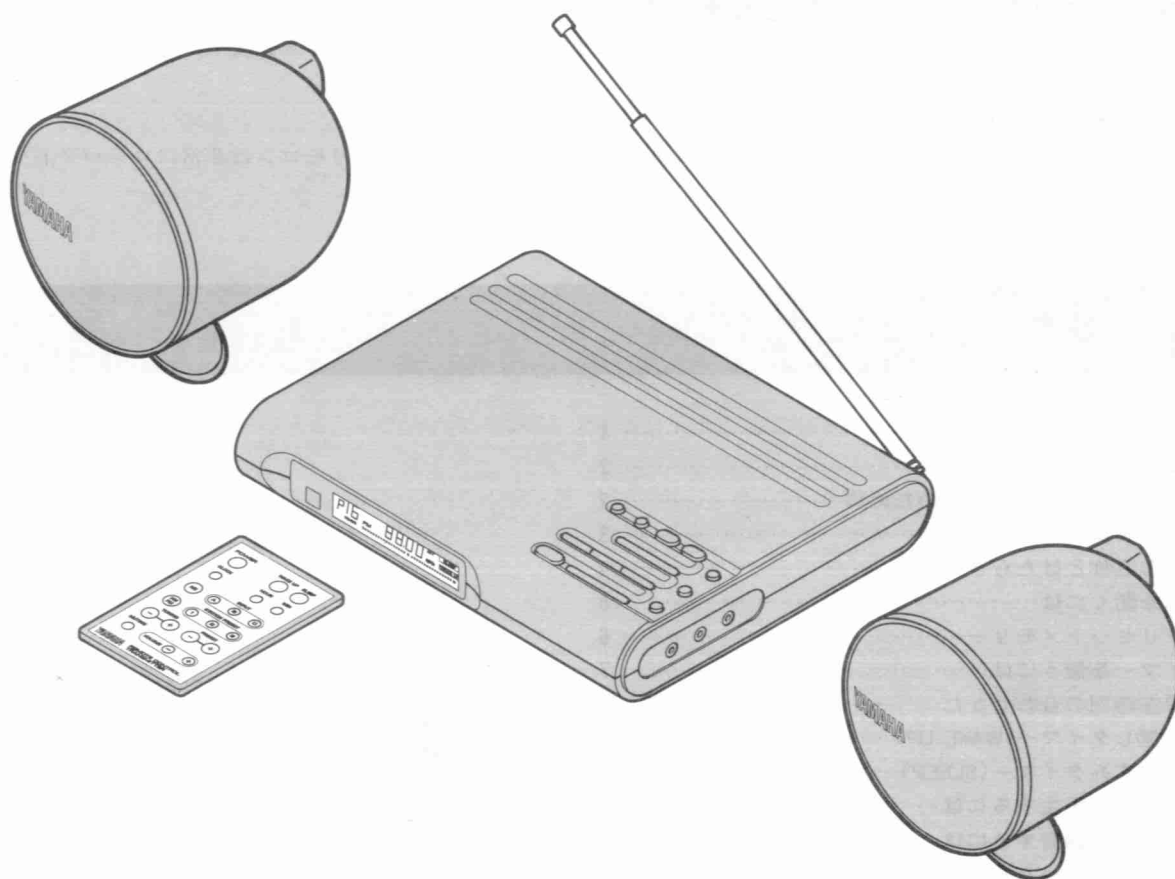
YAMAHA

Active Servo
Technology

DESKTOP AUDIO SYSTEM

AST-7

取扱説明書



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、デスクトップオーディオシステムAST-7をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用の前にぜひこの取扱説明書をお読みくださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、保証書と共に保管してください。

特 長

■小型ながら迫力の低音再生

アクティブ サーボ プロセッシング アンプを採用していますので、迫力のある低音がお楽しみいただけます。また非常にコンパクトな設計となっておりますので、机の上などちょっとしたスペースにも設置可能です。

■タイマー機能内蔵

目覚しタイマー(WAKE UP)、おやすみタイマー(SLEEP)を内蔵しています。放送を聞きながらおやすみになり、放送でお目覚めになれます。

■AM、FM合わせて18局プリセットメモリー可能

好きな放送局を18局プリセットメモリーできます。メモリーした放送局はプリセット選局で簡単に選局できます。

■ヘッドホンステレオなどの外部機器接続可能

ヘッドホンステレオなどを接続し、本機のアクティブ サーボ プロセッシング アンプを使って迫力のある音をお楽しみいただけます。

■21キーワイヤレスリモコン

離れたところから本機を操作できるワイヤレスリモコンが付属しています。リモコンは非常にコンパクトなカード型になっています。

目 次

特長	1
付属品	2
豊かなオーディオライフのために	2
接続のしかた	3
各部の名称とはたらき	4
放送を聞くには	6
プリセットメモリー	6
タイマーを使うには	7
現在時刻の合わせかた	7
目覚しタイマー(WAKE UP)	7
おやすみタイマー(SLEEP)	8
外部機器を再生するには	9
外部機器で録音するには	9
故障かなと思ったら	10
参考仕様	10
ヤマハホットラインサービスネットワーク	11



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット







楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

■保護回路について

本機には内部の温度上昇防止のための保護回路が内蔵されています。内部の温度が設定温度以上になると、自動的にスピーカー端子の出力をカットし、スピーカーから音が出なくなるようにします。これは内部の回路を保護するためです。もし保護回路が働いた場合は電源を切り、温度が下がるまでしばらく待ってください。一定温度まで下がると元に戻ります。

本機の底板は放熱板になっていますので、放熱のために熱くなることがありますので、直接触れないでください。また、通気性のよい(放熱効果のよい)場所に設置してください。

付属品が揃っているか確認してください。 付属品

リモコン	リモコン用電池	電源コード	スピーカースタンド×2 スタンド固定ネジ×4	スピーカーコード×2 (2m)	外部機器接続コード
					

(使用上の注意) 豊かなオーディオライフのために

■電源

国内のみでご使用ください。
家庭用電源コンセント(AC100V)に接続してください。
※それ以外の電源を使用すると、動作不良や故障の原因になります。

■電源コード

専用の電源コードを使用してください。
電源コードはひっぱらないでください。(プラグを持って抜いてください)
電源コードの上に重い物をのせないでください。
※電源コードが断線したり、感電の原因になります。

■本体

キャビネットは開けないでください。
セットの中に金属類(針・硬貨など)を入れないでください。
セットの中に液体(水・アルコールなど)を入れないでください。
セットの中に燃えやすいもの(紙・布など)を入れないでください。
※火災・感電・故障の原因になります。

■設置場所

蛍光灯やモーターなどノイズを発生するものの近くには置かないでください。
※雑音が入ることがあります。
ぐらついた台の上や、傾いた所には置かないでください。
※落ちたり、倒れたりして危険です。
湿気が多い所、ほこりの多い所、直射日光の当たる所、温度の高い所、極端に寒い所には設置しないでください。
※動作不良や故障の原因になります。

本体の底板は放熱板となっていますので、熱くなりますが異常ではありません。熱に弱い化粧板を使ったテーブルなどの上に設置するのは避けてください。

■長期間

旅行や外出などで長期間留守にされる場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。この場合プリセットメモリーは消えてしまいますので、メモリーしなおしてください。
※不慮の事故が防げます。

高温・低温はさけて!

窓際や直射日光の当たる場所・暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度40℃以上)・湿度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)・湿度の多い場所(湿度90%以上)は、さけてください。



国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V



ほこり・水気をさけて!



不安定な場所をさけて!



薬物厳禁



開けないで!



引っばらないで!



こわれた?



10ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

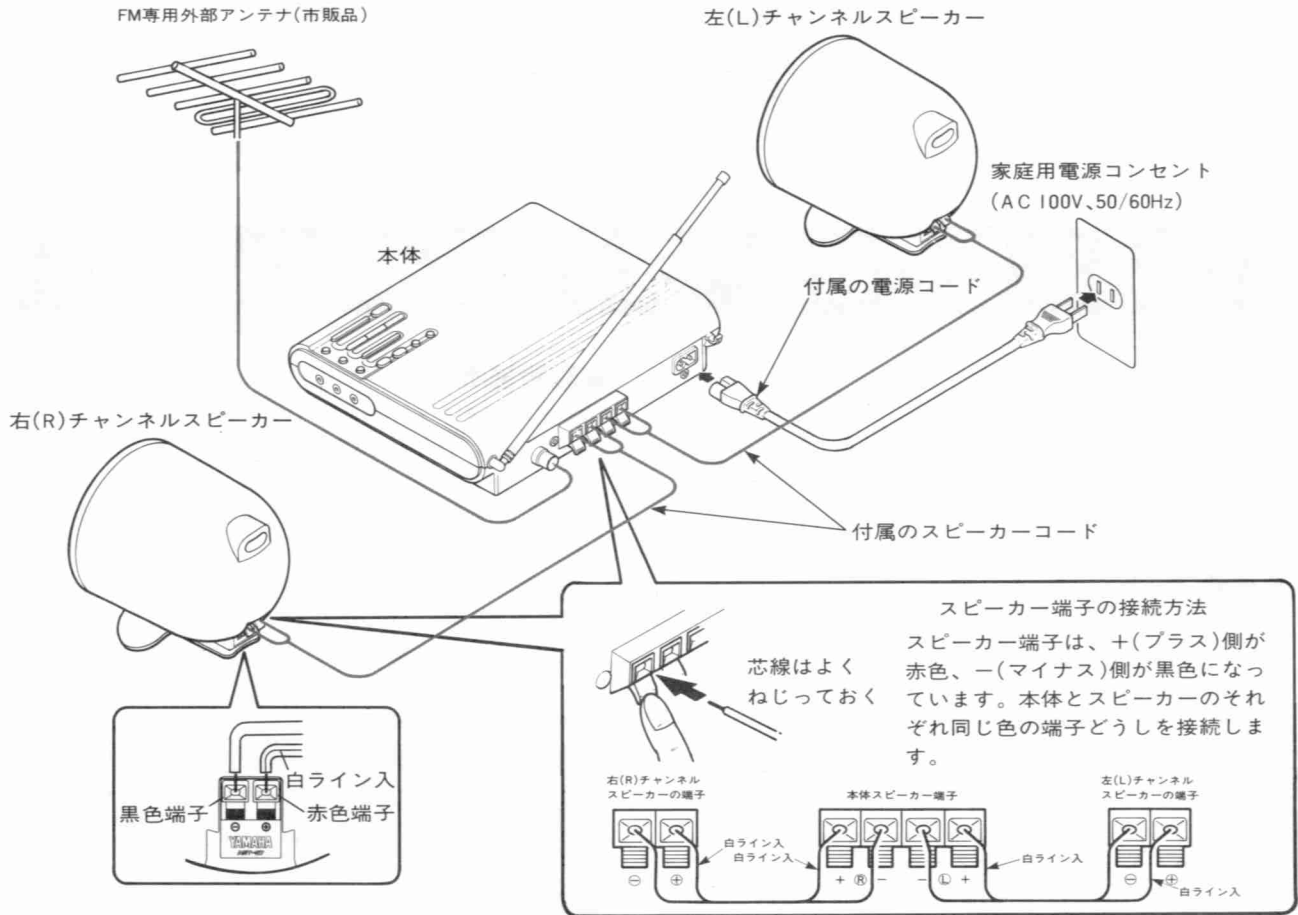
取扱説明書はかならず保管してください



ファイルなど

接続のしかた

- 電源コードは他の接続が終わってから最後に接続してください。
- スピーカーコードは右(R)、左(L)、極性(+、-)を確認し、確実に接続してください。
- 外部機器を接続する場合は9ページをご覧ください。
- 接続が終わったら、7ページ「タイマーを使うには」を参考に現在時刻を合わせてください。



スピーカーの設置のしかた

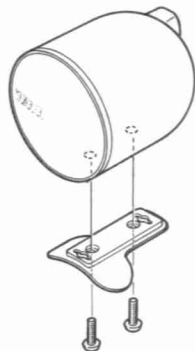
スピーカーは付属のスピーカースタンドを使って、据置として使用できます。

●据置として使用する場合

スピーカースタンドをスタンド固定ネジで図のように取り付けます。

安定した台の上に設置してください。

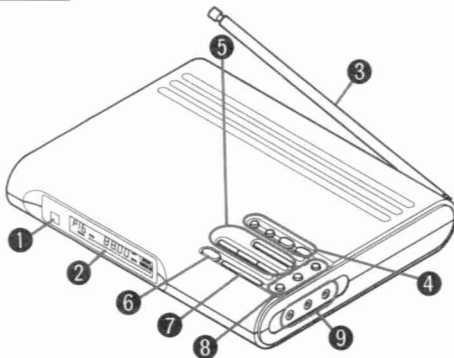
- 別売のスピーカーホルダーSPM-1、SPM-2、SPM-3を使用することもできます。



※スピーカーをテレビの近くに設置すると色むらが生じることがあります。その場合はスピーカーをテレビから離して設置してください。

各部の名称とはたらき

本体



① リモコン受光窓

付属のリモコンからの信号を受光するところです。リモコンはこの窓に向けて操作してください。

② 表示窓

現在時刻、タイマーのセット時刻、受信周波数、プリセットチャンネルを表示します。

③ ロッドアンテナ

放送を受信するとき、伸ばして受信感度の良い方向へ調節します。

④ タイマーセットボタン

HOUR：現在時刻やタイマーの時刻で「時」をセットするときに使います。

MIN：現在時刻やタイマーの時刻で「分」をセットするときに使います。

WAKE UP：目覚しタイマーをセットするときに使います。

SLEEP：おやすみタイマーをセットするときに使います。

⑤ プリセットボタン

プリセットメモリーするとき、またメモリーした局を呼び出すときに使います。

＋：プリセットナンバーを順方向に順に表示します。

－：プリセットナンバーを逆方向に順に表示します。

1、2、3：プリセットナンバー1、2、3をダイレクトに呼び出します。

⑥ POWERボタン

電源をON、OFFするボタンです。

⑦ VOLUME/TIME ADJボタン

音量を調節するボタンです。＋を押すと大きくなり、－を押すと小さくなります。ボタンを押し続けると連続して音量が変化します。

④タイマーセットボタンと併せて使用したときは＋側で時刻が進み、－側で戻ります。

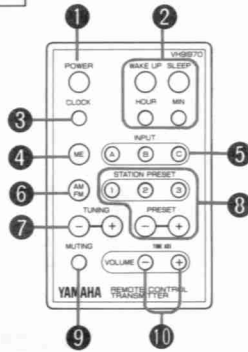
⑧ 外部入力切替ボタン

接続した外部機器を聞くときにこのボタンで選択します。

⑨ 外部機器入力ジャック

ステレオミニプラグコードを使って外部機器を接続します。

リモコン



① POWERボタン

電源をON、OFFするボタンです。

② タイマーセットボタン

本体の④タイマーセットボタンと同じはたらきをします。

③ CLOCKボタン

このボタンを押すごとに、表示が現在時刻と受信周波数に切り替わります。

④ ME(メモリー)ボタン

放送局をプリセットメモリーするときに使います。

⑤ INPUTボタン

本体の⑧外部入力切替ボタンと同じはたらきをします。

⑥ AM/FMボタン

受信するバンド(AMまたはFM)を選択するボタンです。

⑦ TUNINGボタン

放送局を選局するときに使います。

⑧ PRESETボタン

本体の⑤プリセットボタンと同じはたらきをします。

⑨ MUTINGボタン

ボタンを押すと音が消えます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

ミュート中は音量表示が点滅します。

⑩ VOLUMEボタン

本体の⑦VOLUMEボタンと同じはたらきをします。

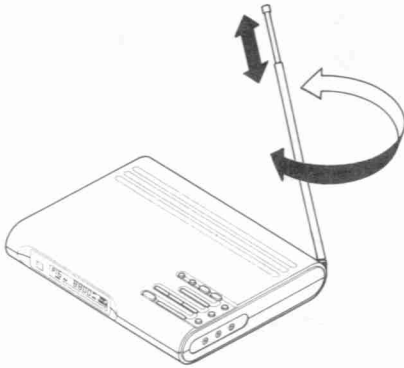
■ 本体ディスプレイについて



各部の名称とはたらき

ロッドアンテナについて

放送を聞くととき、ロッドアンテナを伸ばして、放送が最もよく聴こえるようにロッドアンテナの長さや角度を調節してください。



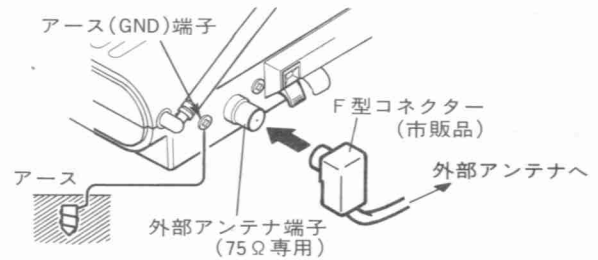
外部アンテナ端子について

放送の受信状態が悪い場合は、市販のFM専用外部アンテナを設置されることをおすすめします。

外部アンテナを接続する場合は、アンテナ線に市販のF型コネクターを取り付け、本機後面の外部アンテナ端子に接続してください。

アンテナの設置について詳しくは、販売店にお尋ねください。

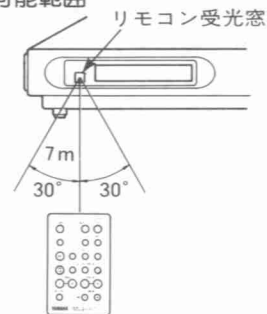
※アンテナ線は蛍光灯からなるべく離して配線してください。また、雑音が多い場合は、アース(GND)端子にアース線をつないでください。



リモコン操作について

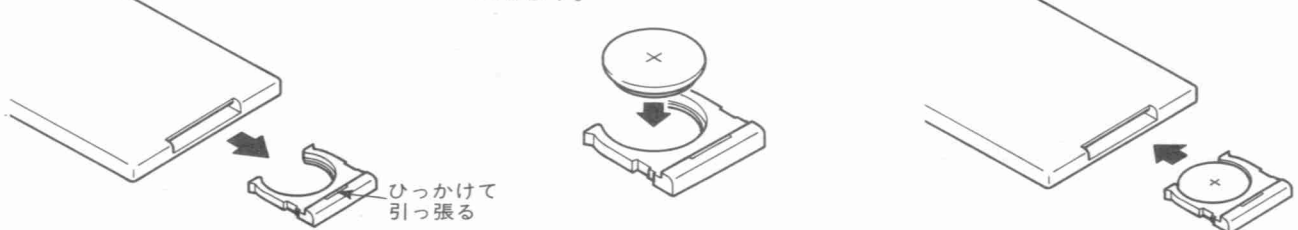
- 本体のリモコン受光窓に向けて操作してください。
- リモコン受光窓に直接日光や強い光が当たっていると正常に動作しないことがあります。またリモコンと受光部との間に障害物がある場合も動作しません。このようなときは本体の設置場所を変えるか障害物を取り除いてください。
- リモコンの操作ボタンは柔らかい材質で作られています。鉛筆など先のとがった物で操作しないでください。

リモコンの使用可能範囲



電池の入れかた

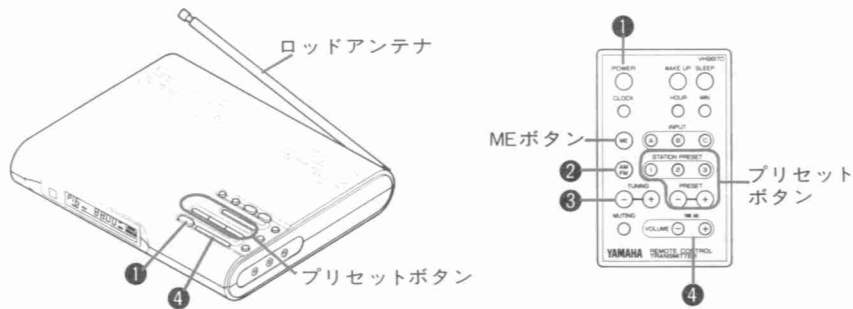
- ① リモコンを裏返し、電池ホルダーを抜きます。
- ② 付属の電池を電池ホルダーにのせます。電池の+の表示を上にしてのせます。
- ③ 電池ホルダーをリモコンに挿入します。



電池のご注意

1. 電池を交換する場合同タイプのものご使用ください。
本機に使われている電池はCR2025です。
2. 長時間使用しないときは電池を取り外しておいてください。
3. 電池の寿命は約1年です。リモコンの使用状況によって異なりますので、受光範囲が狭くなったり、受光距離が短くなったら交換するようにしてください。

放送を聞くには



- ①ロッドアンテナを伸ばし、電源を入れます。 ②受信するバンドを選びます。 ③選局します。 ④音量を調節します。



ボタンは軽く1回押すと、周波数が1ステップずつ変わります。また約0.5秒以上押し続けると、周波数が連続して変わり、放送を受信したところで自動的に止まります。



プリセットメモリー

ふだん良く聞く局をメモリー(記憶)しておき、簡単な操作で選曲できるようにする機能です。プリセットメモリーできる放送局の数は、AM、FM合わせて18局です。また、プリセットナンバーP1~P3にメモリーした放送局は、PRESET1~3のボタンでワンタッチ選曲できます。特に良く聞く局はP1~P3にメモリーすると便利です。プリセットメモリーは、停電および電源コードを抜いた状態でも約1日はメモリーされています。それ以上通電されない場合は、メモリーが消えてしまいますので再度メモリーしなおしてください。

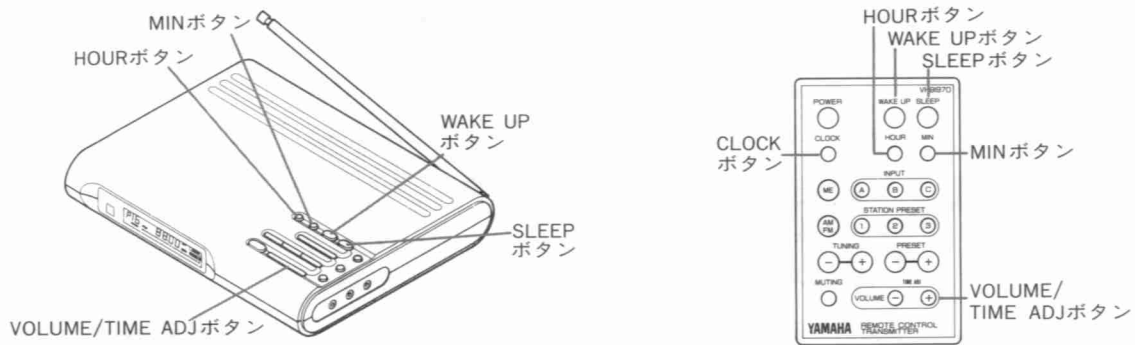
プリセットメモリーのしかた(リモコンで操作します。)

- ①放送局を選局します。「放送を聞くには」を参考にメモリーしたい放送局を選局します。
- ②リモコンのME(メモリー)ボタンを押します。ボタンを押すと表示部のPが約5秒間点滅します。
- ③Pが点滅している間にメモリーするナンバーを選びます。(本体でも操作できます)プリセットナンバーP1~P3の場合は1~3のボタンのいずれかを押すとメモリーされます。プリセットナンバーP4~P18の場合は、ナンバーを選んだ後ME(メモリー)ボタンを押します。放送局がメモリーされると、表示部のPが点灯に変わります。

プリセット選局(本体でも操作できます。)

- ①電源を入れます。
- ②プリセットしたナンバーを選びます。プリセットナンバーP1~P3の場合は、1~3ボタンで直接選べます。プリセットナンバーP4~P18の場合は、PRESET \ominus 、 \oplus ボタンで選びます。
- ③音量を調節します。音量は数字とインジケータ両方で表示します。

タイマーを使うには



現在時刻の合わせかた (リモコンで操作します。)

現在時刻は電源が切れているときでも合わせることができます。電源が切れているときの時刻合わせは、②の操作から始めます。

- ① **CLOCK** ボタンを押して時刻表示にします。
- ② **HOUR** ボタンを押します。(本体でも操作できます。)

「時」表示が点滅します。
- ③ **VOLUME/TIME ADJ** ボタンで「時」を合わせます。(本体でも操作できます。)

リモコン
 ⊕で進みます。⊖で戻ります。
- ④ **MIN** ボタンを押します。(本体でも操作できます。)

「時」表示が点灯に変わり、「分」表示が点滅します。

- ⑤ **VOLUME/TIME ADJ** ボタンで「分」を合わせます。(本体でも操作できます。)
 - ⑥ **CLOCK** ボタンを押します。ボタンを押したときから「分」表示が点灯に変わり、時計がスタートします。
- 電源コードを抜いたり、停電があったときには、再度時刻合わせを行ってください。

目覚しタイマー (WAKE UP)

セットした時間になると自動的に電源が入り、放送が聞けます。電源が切れている状態でもセットできます。受信する放送局は、タイマーをセットする前に聞いていた放送局になります。外部入力切換ボタンで外部機器を選択しているときは、選ばれたソースになりますので、注意してください。

- ① **WAKE UP** ボタンを押します。

本体
 または WAKE UP

 リモコン
 WAKE UP インジケータが点灯します。
- ② **HOUR** ボタンを押します。

「時」表示が点滅します。
- ③ **VOLUME/TIME ADJ** ボタンで開始時刻の「時」を合わせます。

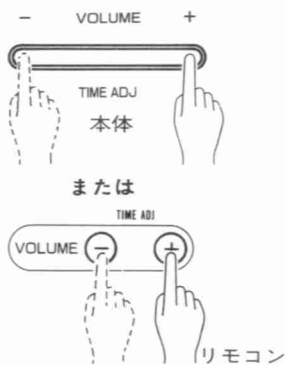
本体
 または

 リモコン
- ④ **MIN** ボタンを押します。

「時」表示が点灯に変わり、「分」表示が点滅します。

タイマーを使うには

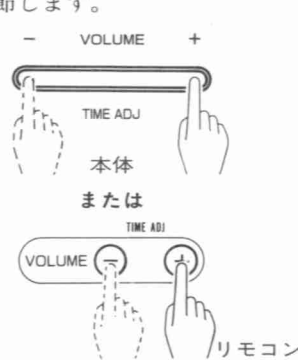
- ⑤ **VOLUME/TIME ADJ** ボタンで開始時刻の「分」を合わせます。



- ⑥ **WAKE UP** ボタンを押します。開始時刻がセットされ、表示が音量表示に変わります。



- ⑦ 目覚しタイマーが動作したときの音量をセットします。**VOLUME/TIME ADJ** ボタンを使って調節します。



- ⑧ **WAKE UP** ボタンを押します。



電源が切れている状態からタイマーをセットしたときは、**WAKE UP** ボタンを押すと、現在時刻が変わり、目覚しタイマーがセットされます。電源が入っている状態からタイマーをセットしたときは、**WAKE UP** ボタンを押した後、**POWER** ボタンを押して電源を切ってください。

目覚しタイマーを解除するには

WAKE UP ボタンを押します。**WAKE UP** インジケーターが消灯します。



目覚しタイマーの内容を確認するには

WAKE UP ボタンを押して、**WAKE UP** インジケーターを一旦消したあと、もう一度 **WAKE UP** ボタンを押すと、**WAKE UP** インジケーターが点灯し、設定時刻と音量を約 4 秒ずつ表示し、現在時刻表示に戻ります。



おやすみタイマー (SLEEP)

セットしてから約 60 分たつと自動的に電源が切れます。放送を聞きながらおやすみになるときに便利です。

- ① 聞きたい放送を **選局** します。

6 ページ「放送を聞くには」参照。

- ② **SLEEP** ボタンを押します。

SLEEP インジケーターが点灯し、約 60 分たつと自動的に電源が切れます。



おやすみタイマーを解除するには

SLEEP ボタンをもう一度押します。**SLEEP** インジケーターが消灯します。または電源を切ります。



メモ:

おやすみタイマーと目覚しタイマーは両方ともセットすることができます。

夜はおやすみタイマーを使い、翌朝目覚しタイマーで放送を聞きながらお目覚めになれます。

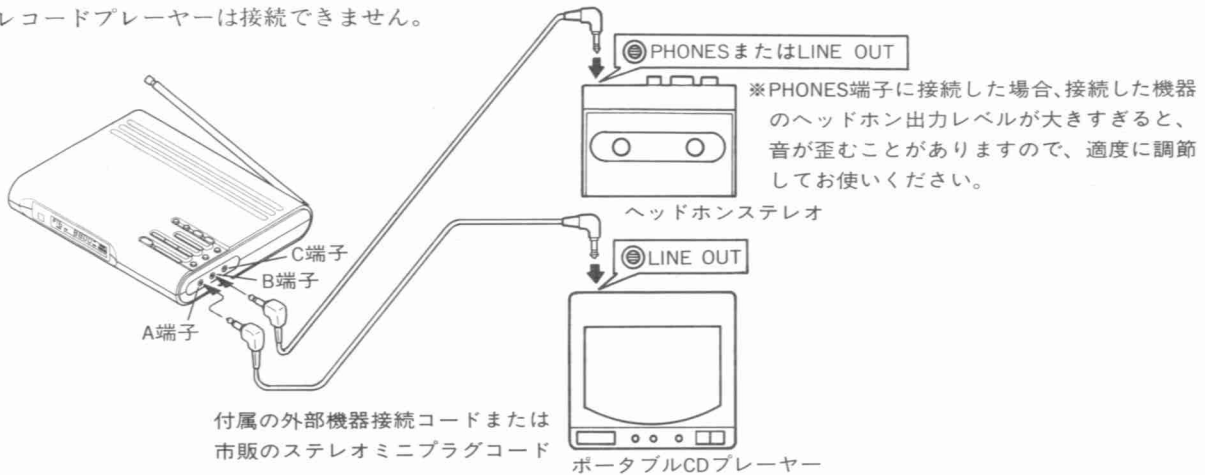
※おやすみタイマーで外部機器(カセット、CDなど)を聞いて、目覚しタイマーで放送を聞くことはできません。

外部機器を再生するには

ヘッドホンステレオなどを接続して再生できます。

接続のしかた

- 接続時は電源を切ってください。
- 市販のステレオミニプラグコードを使っても接続できます。
- レコードプレーヤーは接続できません。

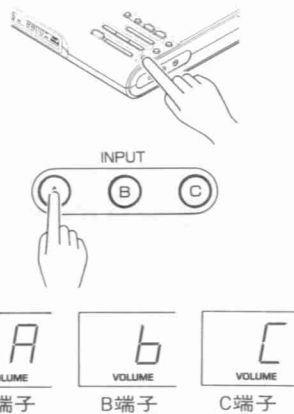


操作のしかた

- ①電源を入れます。
本機および接続した機器
両方とも電源を入れます。

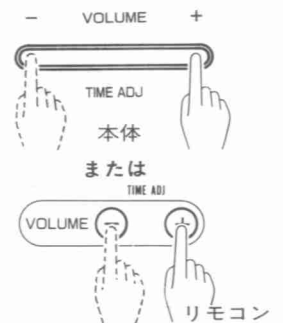


- ②接続した機器を外部入力
切換ボタンで選びます。
選んだ端子が表示されま
す。



- ③接続した機器を再生状態
にします。詳しくは、接
続した機器の取扱説明書
をご覧ください。

- ④音量を調節します。

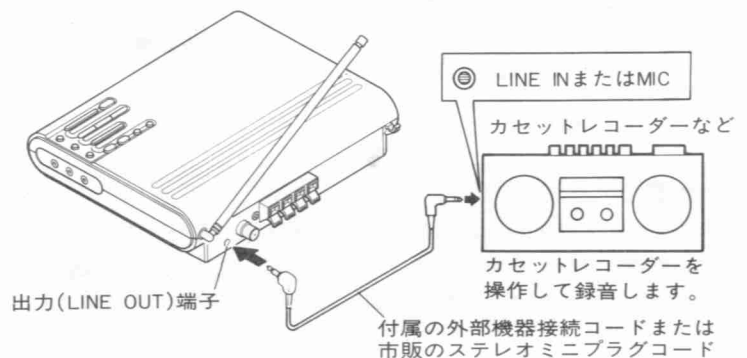


※接続した機器で音量調節
ができる場合には、再生
音が本機の放送を聞くと
きと同じレベルになるよ
うに調節し、その後の音
量調節は本機のVOLUME
ボタンで行います。

外部機器で録音するには

カセットレコーダーなどを接続して録音できます。

- 接続時は電源を切ってください。
- 市販のステレオミニプラグコードを使っても接続できます。
- 市販の変換コード（ステレオミニプラグ⇄ピンプラグ）を使うと、オーディオシステムと接続できます。
- 録音操作については、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。



※MIC端子に接続した場合、スピーカーからの音が小さくなる場合があります。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症 状	原 因	処 置
放送が受信できない。	アンテナの入力電波が弱い。	ロッドアンテナを伸ばし、方向を変えてみる。またはFM外部アンテナを接続する。
音がでない。	スピーカーの接続が不完全。	接続を確認します。
	音量が低すぎる。	VOLUME ボタンの+を押して音量を上げる。
	ミュート(消音)になっている。	リモコンのMUTING ボタンを押して解除する。
	外部入力切替ボタンが間違っている。	正しくセットする。
目覚しタイマーが動作しない。	目覚しタイマーがセットされていない。	WAKE UP ボタンを押してWAKE UP インジケータを点灯させる。
	現在時刻が違っている。	現在時刻を正確に合わせる。

参考仕様

■アンプ部

定格出力(6Ω/EIAJ)	7W+7W
入力感度(外部機器入力ジャック)	150mV

■チューナー部

受信周波数範囲	
FM	76.0MHz~90.0MHz
AM	531kHz~1611kHz

■タイマー部

目覚し(WAKE UP)タイマー	1日1回
おやすみ(SLEEP)タイマー	60分

■スピーカー部

型式	アクティブサーボ プロセッシングスピーカー
スピーカーユニット	フルレンジ10cm
出力音圧レベル	86.5dB/W/m
再生周波数帯域	45Hz~18kHz

■総合

電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	21W
外形寸法	
本体(W×H×D)	210×55×184mm
スピーカー(1個分)	φ145×175(奥行)mm
(スタンド含まず)	

重量

本体	1.8kg
スピーカー(1個分)	1.3kg
付属品	
リモコン×1	
リモコン用電池×1	
電源コード×1	
スピーカースタンド×2	
スタンド固定ネジ×4	
スピーカーコード×2	
外部機器接続コード×1	

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

（右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。）

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。
※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

（電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口）

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL(011)513-5036
仙台	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
松本	〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F TEL(0263)32-5930
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
京都	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル TEL(075)361-6470
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
神戸	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ神戸店内 TEL(078)321-1195
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル4F 東北営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 首都圏第一営業所 TEL(03)255-5691 首都圏第二営業所 TEL(03)255-2201 神田営業所 TEL(03)255-6767
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル 北関東営業所 TEL(025)241-2084
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ッ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋市千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 中央営業所 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いよぎん広島ビル内 中国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 AV機器事業部 お客様ご相談センター TEL(0534)60-3409

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

国内営業部 TEL.(0534)60-3451
生産部品質保証課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。